

みんなに祝福され、はじける笑顔。高坂保育所で行われた誕生日会的一幕です。三原市も今月22日が10歳の誕生日。平成17年3月の合併から10周年を迎えます(2/6 高坂保育所)

あなたの暮らしのそばに

広報 みはら

お誕生日は
うれしいな



合併10周年記念特集

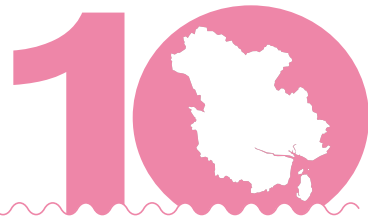
- やっぱりみはらが好き.....2
- 市政フラッシュ.....8
- 住民異動などの届け出は忘れずに.....9
- 公民館・コミュニティセンターの受講生募集.....16
- イベント情報.....18

3

平成27(2015)年
第120号

三原市と同じ10歳になったよ

合併10周年記念特集
やっぱり**みはら**が好き
～ We Love MIHARA ～



平成17年3月22日、旧三原市・本郷町・久井町・大和町が合併し、新“三原市”が誕生しました。あれから10年が経ち、今月22日に市は合併10周年を迎えます。

新年度、市は合併10周年記念事業として、4月29日(水・祝)に開催する合併記念式典・伝統芸能披露(※詳しくは広報みはら4月号でお知らせします。)など、さまざまな催しを実施します。

この10年間、「海・山・空 夢ひらくまち」のキャッチフレーズのもと、新たな挑戦を続けてきた三原。市内には三原を愛し、それぞれの分野で頑張っている人がいます。

今月号では合併10周年記念特集として、この10年を振り返りながら、そんな「みはら好き」の皆さんを訪ねました。

☎秘書広報課 ☎0848・67・6007



上の写真で元気いっぱいの姿を見せてくれているのは、三原市と同じく今年度で10歳になった久井小学校の4年生37人です。この子どもたちもこの10年間で多くの事を経験し、たくましく朗らかに成長しました。

平成25年4月、市は市内11校を統合し、新たに3つ

の小学校を開校しました。中でも、久井・八幡地域の小学校を統合して誕生した久井小学校は、久井中学校と同じ敷地内に設置された市初の施設一体型小中連携校。合同体育祭や中学生による体育の実技指導補助など、さまざまな取り組みを行なっています。



市民が本格的な音楽や舞台芸術を鑑賞できる場として、平成19年10月に開館した芸術文化センターポポロ。新幹線の車窓からも間近に見える特徴的なドーム屋根は、市のシンボルにもなっています。春はさつき祭り、冬はイルミネーションでも親しまれ、イタリア語で民衆・



ポポロ・ジュニアスウィング・オーケストラの練習風景

優れた音響は全国有数 すっかり市のシンボルになったドーム屋根

市民を意味する愛称のとおり、市内外から多くの人が集い、にぎわう場所となっています。

世界的に活躍する音楽家や楽団の公演を行う一方で、市民が企画した気軽な演奏会、文化ボランティアの養成講座など、幅広い活動の受け皿となっているのもポポロの特徴です。

平成20年に結成されたポポロ・ジュニアスウィング・オーケストラは、ポポロを拠点に活動する市民によるジャズ楽団。小学生から60代まで30人の団員が所属し、県内を中心に音楽祭などに出演しています。

メンバーの荒谷咲希さんは、学生時代に親しんだテナーサクソを社会人になっても続けたいと入団しました。「子どもたちを大人がサポートし、家族のような温かい雰囲気です」と笑顔で話します。

これからも三原の芸術文化の創造拠点として、ますますの活用が期待されます。



ポポロ・ジュニアスウィング・オーケストラ
あらたにさき
荒谷咲希さん

~~~~~ 行きたいまちへ ~~~~~

三原バイパスの全線開通に合わせ平成24年3月に営業を始めた道の駅「みはら神明の里」。オープンから3年が経つ現在も、週末を中心に車やバイクでたくさんの方が訪れ、三原の新たな名所になっています。

市は、観光客を迎え入れる機能をさらに強化しようと、今月までの週末、観光コンシェルジュ(案内役)を配置し、利用者を市内観光に誘導する取り組みを行なっています。

案内役を務める団体の一つで、歴史愛好家グループの三原二之丸会は、甲ちゅうや羽織、はかま姿で市内の名所や特産品を紹介し、観光パ



混雑時は駐車場待ちが出るほどにぎわう道の駅「みはら神明の里」

市外から人を呼び込む陸の玄関口 総合的な情報発信拠点へ

ンフレットを手渡しています。親子連れなどに頼まれ、記念撮影に応じることも。メンバーは「四国や九州から来る人もいる。市内を通過するのではなく、三原の名所を巡り、名物を味わって帰ってほしい」と呼び掛けます。

みはら神明の里で販売する特産の農水産物や加工品は、より良い商品を提供することで三原ブランドのイメージを高めようと、生産者団体などと協力して商品の改良や改善、新商品の開発なども行なっています。

飲食コーナーでは地産地消をテーマに、地元の食材を生かした料理を提供。単に料理を食べてもらうだけでなく、三原の農水産物のおいしさを広く知ってもらい、消費拡大につなげるねらいもあります。

陸の玄関口として、市外とつながるみはら神明の里の存在感が高まっています。



三原の歴史や文化を愛する
市民グループ みはらにのまるかい
三原二之丸会

明神三丁目のこども発達支援センターのぞみ。ここに通うのは、言葉や運動の発達に心配があったり、友達との関わりが苦手だったりする子どもたちです。月曜日から土曜日まで20人の未就学児が元気に通園しています。

療育に当たるのは、保育士、児童指導員、作業療法士や理学療法士など専門の資格を持ったスタッフ。「一人ひとりの状況に合わせたきめ細かいサポートを心掛けています」と管理者の真田 徹さんは話します。



こども発達支援センター
のぞみ
管理者 真田 徹さん

「一生懸命子育てしているのに、思うように育ってくれない」。最近こんな子育ての悩みを持つ親が増えています。こうした状況に対応するため、市は平成22年10月に子ども発達総合相談室を開設しました。全国でもこうした相談室を単独で開設している自治体

すべての子どもに発達支援を 子と親がともに育つ環境づくり



必要な支援の程度に合わせ、きめ細かい療育が行われています

はあまり例がありません。

相談室には保健師、臨床心理士、言語聴覚士、発達支援相談員が常駐。県立広島大学の専門家や医師、療育機関などとも連携し、発達についての相談に対応しています。必要があれば、のぞみのような児童発達支援事業所への橋渡しも行なっています。

真田さんは「支援が必要な子どもや親のため、行政や大学、事業者がいつでも連絡を取り合えるネットワークがあるのが三原の強み」と言います。「すべての子どもをサポートしていく発達支援」を合言葉に、子と親が安心して過ごすことができる仕組みづくりが進んでいます。

住みたいまちへ

誰もが互いの違いを認め合い、それぞれが意欲に応じて、家庭や職場、地域などあらゆる分野で活躍できる社会ができれば、私たちの暮らしはもっと豊かになるはずです。

市は平成23年10月に男女共同参画推進条例を施行し、男女が等しく活躍できる社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。

西宮二丁目で掃除用品の販売・レンタル事業などを営む岩本由美さんは、女性社員が能力や個性を發揮できる職場づくりに力を入れている経営者の一人です。



女性が働きやすい職場づくりを推進する経営者
岩本由美さん

女性社員が全体の9割近くという岩本さんの会社では、家庭用品に関係する部門を女性だけで組織し、女性の持つ細やかな気遣いや柔軟な発想を接客に生かす仕組みを整えています。人材育成にも力を入れ、多くの女性管理職が活躍しています。

個性や能力を發揮し、 すべての人が活躍できるまちへ

「仕事や家事も男女が力を合わせてするもの」という考えを、子どもの頃に身に付けてほしい」との思いから、西小学校児童の社会科見学も受け入れています。

岩本さんは、「女性が働きやすい職場は男性も働きやすい。それぞれの得意分野を生かして力を合わせれば、職場や家庭はもっと良くなる」と話します。

人が触れ合い、ともに参画するまちづくりはゆっくりですが、着実に進んでいます。



事業計画や新商品の情報などを伝える女性だけのミーティング。自由な意見が飛び交います



武道を通じて心身の鍛錬に励む人が集っています

平日の夜、市内の中心部ににわかに活気づく場所があります。掃き清められた床と畳に、吹き抜けの高い天井。館内には竹刀がぶつかる音や畳を打つ音、気合いのこもった掛け声が響き渡ります。円一町二丁目にある武道館です。

市は平成26年4月に武道館を移転新築しました。市内中心部の文教地区、リージョンプラザと南小学校校舎の間にある複合施設は、1・2階が武道館、3・4階が南小学校の体育館として使われています。

武道館はもともと合併直後の平成17年6月まで、宮浦二丁目にありました。しかし、そこに芸術文化センター ポポロが建設されることになり、惜しまれながらも解体。以降、館町二

「道」をともに学び合う仲間たち 心ひとつにつながる

丁目の旧緑ヶ丘女子商業高校の体育館を仮設の武道館として使用していました。

設備が整った真新しい道場には、日々、心身の鍛錬に励む市内の武道家たちが集います。「きれいな場所で柔道の練習ができてうれしい」と、大外刈りが得意という沼田東小4年の坂本瑞季さん。剣道で礼儀正しさが身に付いたという廣大附属三原中1年の丸尾 隆三郎君は、「この武道館で試合に出るときは自分から攻めていきたい」と話します。新しい武道館で道を学び合う人たちのつながりが生まれています。



備後柔道連盟三原支部
さかもとみずき
坂本瑞季さん



三原武道館
まるお りゅうざぶろう
丸尾 隆三郎 君

つながるまちへ

大和町大具で寝具を製造販売する今井宏明さん。会社は複数の大手ネット通販サイトに加盟し、アレルギー対策を施した布団などを販売しています。健康志向の追い風にも乗って、全国から次々に注文が入ります。

転機が訪れたのは平成18年。大和地域に光ファイバーケーブルの高速データ通信網が整備されたことでした。今井さんもすぐに利用を開始。ホームページに多くの写真や動画を掲載し、付加価値の高い商品の魅力を消費者に伝え



高速データ通信網が整備され、地方でも情報格差は感じないといえます

東京に負けないビジネスができる 地方でだって

ることができるようになりました。

事業は最大手の会社から表彰を受けるまでに成長。東京や海外へ出張する機会も増えました。平成23年4月に広島中央フライトロードが開通し、職場から広島空港へさらに短時間で行けるように。「朝、家を出れば、午前中に東京で打ち合わせができる」と地の利を語ります。

陸海空の交通インフラに恵まれた三原市。これに加え、平成23年3月に市内全域で高速データ通信網が近隣市に先駆けて整備されました。



ネット販売で事業を拡大する経営者
いまい ひろあき
今井宏明さん

「三原は通信と交通のインフラがともに整った、都会にも負けない場所」と今井さん。

「この環境に魅力を感じ、起業したいという意欲のある若者が集まるまちになれば」と、若い世代が活躍する三原の未来像も思い描いています。

自分の子どもや孫たちも ずっと三原に住みたいと思ってほしい

本郷南四丁目の森本征泰さんの自宅は、黒い外観と木目の組み合わせが素敵な、昨年10月に出来たばかりの一戸建て住宅です。「いつも家族の顔が見えるように」と妻の亜有美さんがこだわった、2階とつながる吹き抜けのリビングからは、2歳になる絃葉ちゃんの笑い声が響きます。

森本さんの住む本郷南地区の一部は、市の東本通区画整理事業で生まれた新しいまち。この10年間に市内で最も姿を変えた場所の一つです。



地域内に多くの公園があるのも子育て世代には魅力

広い街路には新しい家が建ち並び、周辺には大きなスーパーや薬局も出来ました。

「三原で家を建てたい」との夢があった森本さんが、本

格的に場所を探し始めたのは3年前。最も重視したのは、生まれてくる絃葉ちゃんが育つ環境でした。

そして、白羽の矢が立ったのが本郷南

地区。「幼稚園や学校があって、電車通学になったら駅も近い」と亜有美さん。図書館など近くに公共施設が多いのも魅力でした。

休日は、乗り物が好きな絃葉ちゃんを連れ、広島空港へ飛行機を見に行くことも。町内会にも入り、「子どもと一緒に、地域の行事に参加したい」と意欲的です。

「気が早いけど、自分の子どもや孫もずっと住んでいたいと思えるような三原になってほしい」。そんなまちが夫婦の理想です。



本郷南の新しいまちで暮らす

ゆきやす
森本征泰さん・
あゆみ いとは
亜有美さん・絃葉ちゃん

思い出の詰まった花火大会を 三原の新しい名物にしたい

山あいに響く音と振動、星降る夜空に開く大輪の華。合併前、旧大和町で開かれていた白竜湖花火大会。「同窓会で集まった友達と思い出を語りながら眺めた」「結婚する前、奥さんと見に行った」。町民にとってふるさとの象徴だった花火大会の開催は、昭和44年から平成16年まで36回を数えました。

4月11日、その花火大会が合併10周年の記念行事として復活します。運営に当たる実行委員会の中でも、行事の企画を担当しているのは、町内の各地区から集まった若者を中心とした企画部会の7人です。

仕事を終えた後に集まり、イベントの内容や当日の進行スケジュールを夜遅くまで話し合っています。「桜と花火が同時に楽しめるの



大会を盛り上げようと話し合いは深夜まで続きます



大和花火大会実行委員会の企画部会

むらかみもとほる からい
前列左から 村上基治さん、唐井 ゆかりさん、
しんはらやすひろ まきしたかずなり たけもとなおや
新原康宏さん、榎下一成さん、竹本直也さん、
もりひろたけし ひがしやまゆき
森廣武志さん、東山田紀さん

は、全国的にも珍しい」と、意気も上がります。

「大和の人には思い出がたくさん詰まった大切な行事の復活。期待に応えたい」。こう口を揃えるメンバーには「三原の新たな名物として続けられれば」との思いもあります。

伝統に若い感覚を加えてよみがえる白竜湖花火大会。桜と花火の競演がどんな景色を見せてくれるのか、期待に胸が膨らみます。



港町一丁目でバル(洋風居酒屋)を経営する
みやほらだいますけ ゆか
宮原大輔さん・由佳さん

います。「のんびりほのぼのとした、三原のまちのような雰囲気のお店にしたかった」。店主の宮原大輔さんは話します。

もともと駅前の飲食店に勤務していた宮原さん。「いつかは自分の店を」という願いを叶え、昨年11月、妻の由佳さんと洋食やワインを提供するバルを開店しました。

当初、尾道や福山への出店も考えましたが、生まれも育ちも三原という宮原さんは「三原が好きだし、できれば地元でやりたかった」

店の灯りが夜のまちにあふれる そんな三原になってほしい

港町一丁目のバル(洋風居酒屋)。木製のテーブルや椅子が並ぶ温かみのある店内では、たくさんのグループが料理やお酒を楽しんで

と言います。出店では市の新規出店支援事業を利用。空き店舗に入居するなど、一定の条件を満たせば改装費や家賃の補助を受けられます。「開店時は何かと物入り。補助を受けることができて助かった」と振り返ります。

「自然も豊かで交通の便もいい。肩肘張らない、ゆったりとした雰囲気」と三原の魅力を語る宮原さんですが、寂しいのは「まちの中心に元気がないこと」だと言います。

「夜、店の灯りがまちにあふれ、たくさんの人が楽しそうに歩いている」。そんなまちが理想という宮原さん。にぎわいを取り戻す一助になればと、今日も2人で厨房に立ちます。



夫婦で力を合わせて店を切り盛りしています

三原の未来を担う若い力。夢と希望をしっかりと持ち、それぞれの道を懸命に歩んでいます。「ふるさとで生きる」という道を選んだ若者たち

ちがとにも語ったのは「やっぱり三原が好きだから」という言葉。それぞれの三原愛を胸に、まちづくりの第2章が始まります。



久井町羽倉の農業者
くろだともひろ
黒田智広さん

いを聞くと、まなざしにも力がこもります。アパレル業界に就職し、県外で働いていた黒田さんは「地元で恩返しをしたい」との思いから、三原で農業をする道を選びました。平成25年度に市の新規就農者研修を受講し、昨年4月に農事組合法人の立ち上げに参加。農業者として人生を歩み始めました。

法人では新たな試みとして、野菜の生産も始めました。久井町の粘土質の土壌は、砂質の土に比べて作業が大変な分、栄養が豊富。日当たりが良く、昼夜の寒暖の差が大きな気

三原はまだまだ伸びる 若い僕たちにはチャンスがある

「僕の夢は大きいですよ」。久井町羽倉の農事組合法人で働く黒田智広さん。「三原の野菜を全国で通用するブランドにしたい」。農業にかける思い

候も野菜栽培に適しています。製品の中でも、白ネギは柔らかさと甘みの強さが特徴。市内で販売され、地元産食材として給食でも提供されました。「とにかく愛情を込め、質にこだわっています」と黒田さんは胸を張ります。

本郷町で生まれ育った黒田さん。農業を含め、三原の産業はまだまだ伸びると考えています。「後継者問題や担い手不足は、自分のように新たに挑戦しようとする人にはチャンス。若い仲間がどんどん増えればいい」と期待しています。

三原の野菜が全国の食卓へ届く日を夢見て、黒田さんのチャレンジは続きます。



愛情を込め、丁寧に出荷の準備をします

合併10周年



~ We Love

地域防災リーダー養成講座を開催

市は1月23・24日、地域の防災活動で指導的な役割を担う人材を育成する地域防災リーダー養成講座を開催しました。2日間で54人が受講し、座学や専門家による実技指導を通じて防災の知識や技術を学びました。

講座には、自主防災組織で活動している人や、これから自主防災組織を結成したいと考えている町内会の人などが参加。土砂災害をテーマにした講演や消防士によるロープの結び方などの実技指導、大規模災害の発生を想定した避難所運営ゲームや災害図上訓練などを体験しました。

防災リーダーには地域防災の担い手として、地域に防災知識を普及させることや、町内会などで実施する訓練で



▲災害時に役立つ具体的な技術を習得しました

指導的な役割を果たすことが期待されています。講座は今後も開催し、さらに多くの防災リーダーを養成する計画です。

いのちを守る「防災体験」

〈今知っておくこと〉

市民の防災意識と地域防災力の向上を目的に防災体験会を開催します。

とき 15日(日) 10時～13時

ところ 田野浦小学校

内容 講演「三原市を襲う地震・津波・土砂災害」知っておくこと備えること、訓練、各種展示、炊き出し体験など

※親子で参加できます。

☎危機管理課

☎0848・67・6066

死亡事故多発警報を受け街頭啓発を実施

市は、広島県内に交通死亡事故多発警報が発令されたのを受け、1月27日にJR三原駅周辺で街頭啓発活動を実施しました。

啓発活動は朝の通勤時間帯に合わせて、三原警察署や交通安全協会などと合同で実施しました。駅前を通行する会社員や学生などに啓発グッズ200個を配布し、交通安全を呼び掛けました。



▲JR三原駅前で交通安全を呼び掛けました

市内では昨年末から1月上旬にかけて3件の交通死亡事故が相次いで発生。10日間で3人の尊い命が失われたことを受け、市は1月9日から18日までの10日間、交通死亡事故多発警報を発令しました。

しかし、先月13日には下北方一丁目が高齢者が大型トラックにはねられて死亡しており、市内の交通死亡事故をめぐっては厳しい状況が続いています。市民の皆さんは事故防止のため、①安全確認を徹底する②無理な運転や横断をしない③夜間外出する時は反射材を着用する、などを行い、交通事故に遭わないよう十分に注意してください。

☎生活環境課

☎0848・67・6179

公式フェイスブックを始めました

市は先月6日、市政情報の新たな発信

信手段として公式フェイスブックページを開設しました。市からのお知らせやイベント情報のほか、暮らしに役立つ情報などを画像とともに伝えていきます。災害時には必要に応じて緊急情報も発信します。

フェイスブックは、パソコンやスマートフォンなどでインターネットを通じ、利用者が情報を発信したり交換したりできるSNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービスの一つです。

掲載記事へのコメントには、原則として対応していませんので、担当課に問い合わせてください。閲覧は、インターネットを通じて登録していない人も可能です。

フェイスブックに登録している人は「いいね」を押して応援してください。URLは、<https://www.facebook.com/city.mihara>



▲市政情報をタイムリーに発信していきます

☎秘書広報課

☎0848・67・6007



住民異動などの届け出は忘れずに

就職や転勤など住民異動の多い時期です。住所などを異動したときは、住民異動の手続きと併せて、国民健康保険(国保)や年金などの手続きも必要です。

受付時間 8時30分～17時15分(土・日曜日、祝日を除く)

手続きの方法 本人確認ができる物(運転免許証、パスポート、保険証など)を持参し、市民課、または各支所地域振興課へ

※同一世帯以外の方が代理人として届け出をする場合は、委任状と印鑑が必要です。



異動の種類	届け出に必要な物
転出(市外への引越し)	届け出に来た人の印鑑 国民健康保険被保険者証……………国民健康保険の加入者 後期高齢者医療被保険者証……………後期高齢者医療保険の加入者 介護保険被保険者証……………65歳以上の人、40～64歳で認定を受けている人
転入(市外からの引越し) ※住み始めた日から14日以内に届け出をしてください。	届け出に来た人の印鑑 転出証明書……………前住所地の市区町村で発行 (県内からの転入)後期高齢者医療被保険者証……………後期高齢者医療保険の加入者 (県外からの転入)後期高齢者医療負担区分等証明書……………後期高齢者医療保険の加入者 介護保険受給資格証明書……………要介護の認定を受けている人 年金証書……………年金を受給している人 住基カード……………前住所地で住基カードの交付を受けている人 在留カード(旧外国人登録証)または特別永住者証明書……………外国人住民
転居(市内の引越し) ※転居した日から14日以内に届け出をしてください。	届け出に来た人の印鑑 国民健康保険被保険者証……………国民健康保険の加入者 後期高齢者医療被保険者証……………後期高齢者医療保険の加入者 介護保険被保険者証……………65歳以上の人、40～64歳で認定を受けている人 年金証書……………年金を受給している人 住基カード……………住基カードの交付を受けている人 在留カード(旧外国人登録証)または特別永住者証明書……………外国人住民
世帯主の変更 ※変更があった日から14日以内に届け出をしてください。	届け出に来た人の印鑑 国民健康保険被保険者証……………国民健康保険の加入世帯

※住民票の写し・印鑑登録証明書・所得証明書などは、自動交付機(市役所本庁北側出入り口)や保健福祉課(サン・シープラザ3階)でも発行しています。なお、自動交付機を利用するには、暗証番号を登録した市民カードが必要です。

市民課(市役所本庁1階) ☎0848・67・6047、本郷支所地域振興課 ☎0848・86・1111、久井支所地域振興課 ☎0847・32・7111、大和支所地域振興課 ☎0847・33・0222

引っ越しが決まったら水道部へ届け出を

異動の種類	届け出る内容
市内での転居 市外への転出	お客様番号、現住所、名前、引っ越しする日、引っ越し先の住所、電話番号 ※市内での転居は、引き続き同じ口座での引き落としができます。希望する人は、手続きの際に申し出てください。
市外からの転入	新住所、名前、電話番号、使用を開始する日

水道部管理課
☎0848・64・2243

使用水量・料金等のお知らせ

お客様番号 0123-045678-01

設置場所 方書 用遠 口径 メーター番号

お客様番号

契約者名 スイドウ タロウ

検計日 月 日

今回指針 m³

前回指針(一) m³

旧メーター水量(十) m³

今回ご使用水量 m³

前年同期水量 m³

予定水道料金・予定下水道使用料

請求月 年 月 年 月

引っ越しが決まったら、早めに水道部に連絡してください。
連絡がないと、使用していても基本料金がかかります。
※水道部ホームページからも手続きができます。

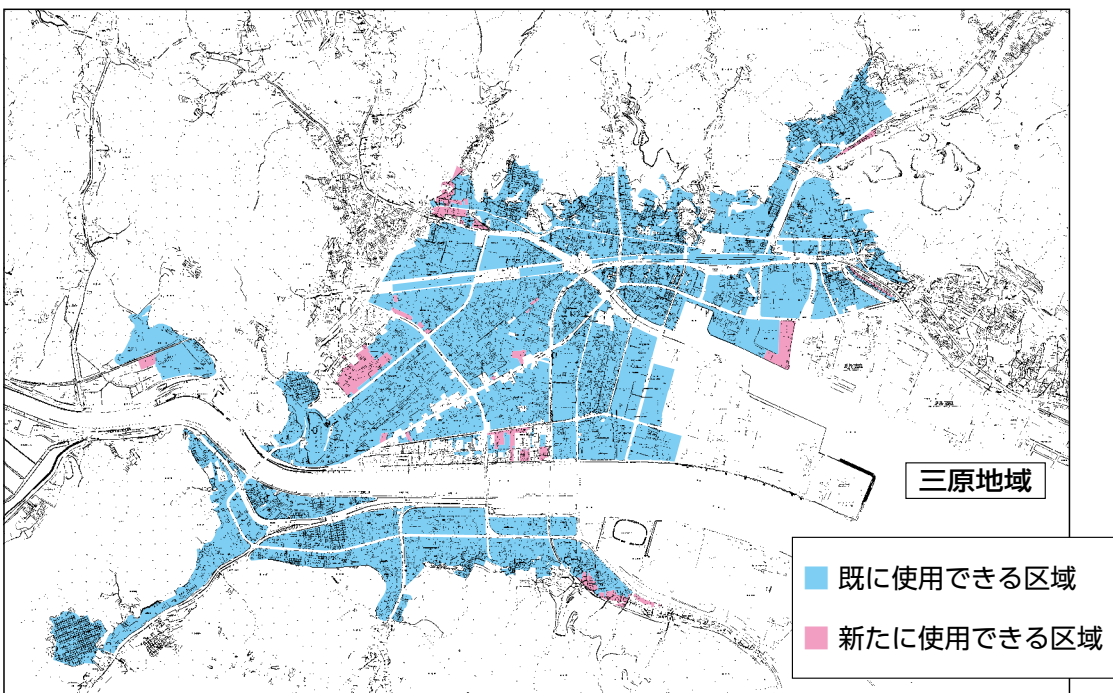
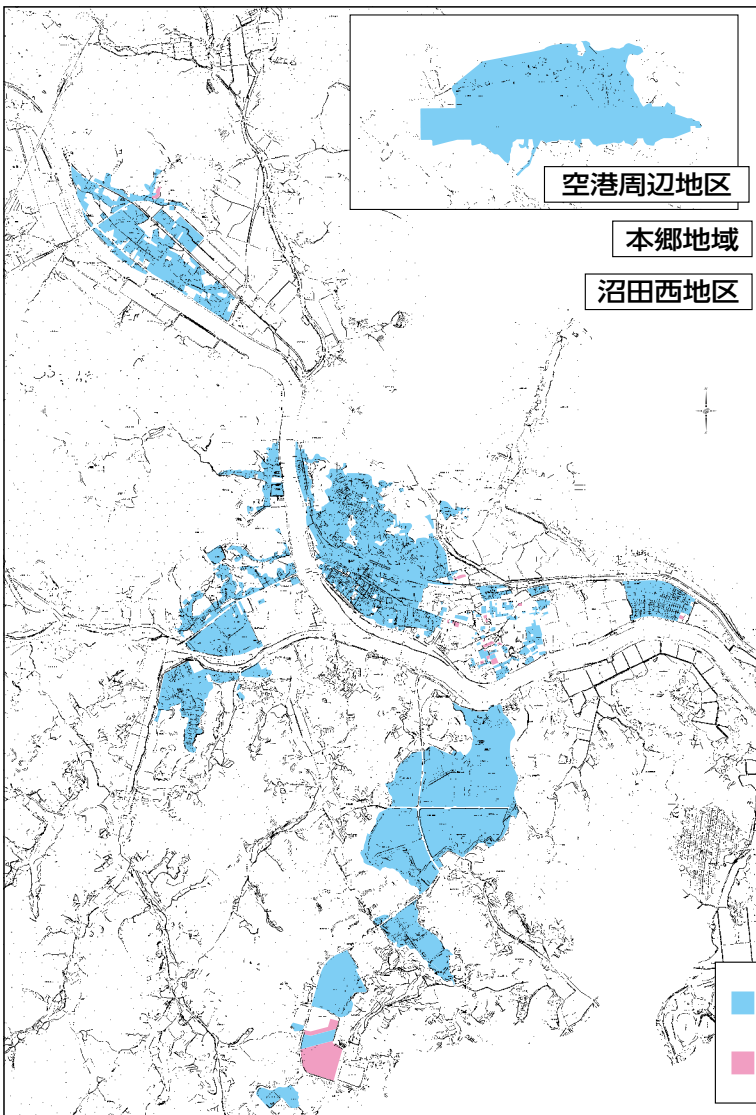


公共下水道を利用できる区域が 広がります

— 区域内の人は接続しましょう —

今月31日(火)から、図の■の区域で新たに公共下水道が使用できるようになります。使用可能区域の中で、公共下水道に接続している世帯は、1月現在で約80%です。公共下水道に接続すると、悪臭や害虫の発生が防げ、衛生的で快適な生活ができるだけでなく、地域の生活環境の向上、川や海の水質保全にもつながります。

※供用開始から3年以内に接続する人は、融資あっせん制度が利用できます。詳しくは、下水道管理課にお問い合わせください。



● 新たに使用可能となる区域(約29ヘクタール、599世帯、1,353人)

旭町二丁目、城町三丁目、中之町二丁目、港町一丁目、西町二丁目、宮浦三・四・五丁目、皆美一・二・三・五丁目、西宮一・二丁目、新倉一・二丁目、和田二丁目、貝野町、沼田西町惣定、本郷南一・三・四丁目、本郷北三丁目、本郷町船木のそれぞれ一部地域

下水道管理課 ☎0848・67・6049

第7回観光写真コンテストの入賞者が決定

先月19日、第7回観光写真コンテストの公開審査が行われ、入賞者が決定しました。今年のコテストには、三原の四季と城下町のテーマのもと、県内外から259人、合計619点の応募がありました。
色鮮やかな紅葉や情緒あふれる城下町の風景など、三原の魅力を収めた力作の中から、大賞など19点が選ばれました。
入賞者は次のとおりです。(敬称略)



大賞・全日本写真連盟賞

「寂」 新潟康生(竹原市)

撮影日 平成26年2月

撮影場所 三景園(本郷町善入寺)



銀賞 「海霧(A)」 菅原正人(呉市)



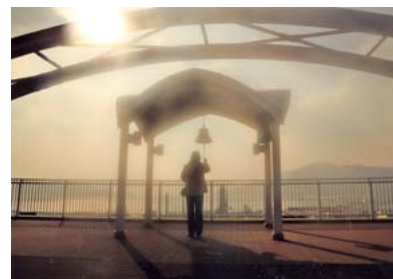
銀賞 「神明の里 幻想」
藤原敏明(中之町)



金賞 「夜空に舞う」 高橋純寿(尾道市)



銅賞 「広島空港 夕景」
増田洋二(東広島市)



銅賞 「神明の鐘」
松岡正明(福山市)



銅賞 「ボケつとでき
ま線」 柚木正稔(広島市)

入賞作品の展示

入場料無料

とき 15日(日)~25日(水) 9時~19時

※土・日曜日、祝日は10時~18時。

ところ うきしろロビー(JR三原駅構内)

観光課

0848-676014

入選 荒木志義(広島市)、法代地昭年(皆実)、光成郁夫(福山市)、那賀悟(東町)、土岸美代子(和田)
佳作 谷岡隆(呉市)、杉森義人(本郷北)、後川正俊(福山市)、飯野宏(広島市)、新原勝彦(大和町)
特別賞 みはら新魅力発見賞 黒塚保之(尾道市)、上川良樹(幸崎)



表 1

こんなとき		届け出に必要な物
国保に加入するとき	他の市区町村から転入したとき	印鑑、他市区町村の転出証明書
	職場などの健康保険をやめたとき	印鑑、健康保険をやめた証明書
	職場などの健康保険の被扶養者でなくなったとき	印鑑、被扶養者でなくなった証明書
	子どもが生まれたとき	印鑑、母子健康手帳
	生活保護を受けなくなったとき	印鑑、生活保護廃止通知書
国保をやめるとき	他の市区町村へ転出するとき	印鑑、保険証
	職場などの健康保険に加入したとき	印鑑、国保と職場の保険証 (職場の保険証が未交付のときは加入した証明書)
	職場などの健康保険の被扶養者になったとき	
	被保険者が死亡したとき	印鑑、保険証、喪主の通帳、喪主が分かる書類
	生活保護を受けるようになったとき	印鑑、保険証、生活保護決定通知書
その他	転居したとき	印鑑、保険証
	世帯主が変わったとき	
	世帯を分けたり、一緒にしたとき	印鑑、保険証、在学証明書など
	子どもが修学のため、別に住所を定めるとき	
	保険証をなくしたとき、または汚れて使えなくなったとき	

※保険証は、運転免許証など官公庁が発行した写真付き証明書で本人と確認できる場合にのみ、窓口で交付します。それ以外は郵送します。

国保だより



加入・脱退の手続きは早めに

国保への加入・脱退などの手続きは、

表1に当てはまるときは、14日以内

い。

世帯主または同じ世帯の世帯員による届け出が必要です。

に市民課(市役所本庁1階)、または各支所地域振興課で手続きをしてください。

国民健康保険(国保)は、職場の健康保険などに加入していない74歳までの人が、病气やけがをしたとき、安心して医療を受けるための医療保険制度です。

加入者みんな健康を支え合う国民健康保険



ジェネリック医薬品による医療費削減報告

国保では、ジェネリック(後発)医薬品に切り替えた場合に、自己負担の削減額が大きい人へ通知をしています。

● 9月分の削減効果

切り替えた人数 3,825人
削減された金額 893万5,081円

☎ 保険医療課

☎ 0848・67・6050

☎ 0848・67・6035 税制収納課(保険税の納付について)

☎ 0848・67・6031 市民税課(保険税の税額について)

☎ 0848・67・6031

4月12日(日)は 広島県議会議員一般選挙の 投票日です

4月12日(日)は、広島県議会議員一般選挙の投票日です。この選挙は、身近な県政に参画する私たちの代表を選ぶ大切な選挙です。一人ひとりがよく考えて、1票を大切に投票しましょう。

■投票所入場券

世帯ごとにとまとめて郵送します。投票所など記載内容を確認し、各人ごとに切り離して投票所へ持参してください。

※無投票になった場合は郵送しません。

※入場券がない場合、運転免許証などの身分証明書を用意し、投票所で申し出てください。

※平成27年3月21日以降に市内で転居した人は、前の住所地の投票所になります。入場券で確認してください。

■投票の時間・場所

投票時間は7時～20時です。久井・大和地域は、全投票所とも7時～19時です。



表1 投票時間が異なる投票区

投票区名	投票開始時刻	投票閉鎖時刻
登 町	7:00	18:00
向 田		
須 ノ 上		16:30
佐 木		
小 佐 木		

投票区名	投票開始時刻	投票閉鎖時刻	
本 郷 第 一	7:00	19:00	
本 郷 第 二			
船 木 河 内 谷		18:00	
船 木 中 筋			
船 木 平 坂			
船 木 芋 堀	8:00	16:00	
下 北 方	7:00	19:00	
上 北 方			
善 入 寺			
南 方 第 一			
南 方 第 二			
南 方 第 三			
南 方 日 名 内			18:00

投票時間が異なる投票区は表1のとおりです。
※投票時間・投票所の場所は、入場券に記載してありますので確認してください。



投票所入場券

■期日前投票

仕事やレジャーなどの都合で、投票日に投票することができない人は、期日前投票ができます。

期日前投票所	期 間
市役所本庁舎議会棟1階	4月4日(土)～11日(土)
本郷支所1階	4月5日(日)～11日(土)
久井支所1階	
大和支所1階	

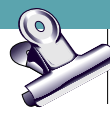
時 間 8時30分～20時
※土・日曜日にも投票できます。
用意する物 投票所入場券

■県内に転出した場合

三原市の選挙人名簿に登録され、投票する日までに県内の他の市区町に転出した人(1回に限り)が、三原市で投票する場合は、三原市が転出先の市区町長が発行する「引き続き住所を有する旨の証明書(無料)」、または住民票の写しが必要です。

■選挙管理委員会事務局

☎0848・67・6140



みはらし環境会議

かんきょう会議浮城

そばの育て方と堆肥づくり講座 **参加費無料**

とき 3月29日(日)13時~16時

ところ 中央公民館 第2・3講座室、屋外

内容 そばの育て方(講師:大乘自然環境を守る会
会長 河崎義光さん)と生ごみ・EMぼかしを使っ
た土作りなど

定員 20人(申し込み先着順)

用意する物 軍手、タオル、帽子、筆記用具、動き
やすい服装

申し込み先 みはらし環境会議事務局(生活環境課
内☎0848・67・6194)

本郷緑と水を守る会

新高山自然観察登山 **参加費無料**

~満開の山桜の巨木を見に行こう~

とき 4月5日(日)10時~※雨天中止。

ところ 集合:新高山登山者用駐車場(本郷南7丁
目)

内容 自然を観察しながらの登山、山頂で解散後
は自由行動

定員 15人(申し込み先着順)

用意する物 昼食、登山に適した服装

申し込み先 みはらし環境会議事務局(生活環境課
内☎0848・67・6194)

非常勤職員を募集

任用期間 平成27年4月1日~平成28年3月31日

対象 平成27年4月1日現在で65歳未満の人

受付期間 平成27年3月2日(月)~10日(火)

用意する物 申込書、応募資格を証明するものの写し

選考方法 書類審査・適性検査・面接

※募集要項・申込書は各課・市ホームページで取得できます。

職種	報酬(月額)	勤務日・時間	業務内容	応募資格	定員	申し込み・問い合わせ先
保健指導員	9,660円	週4日、1日6時間45分	高齢者の保健福祉 事業に関する保健 指導・相談業務	保健師または看護師の免許を持って いるか、3月末までに取得見込みで、 普通運転免許を持っている人	1人	高齢者福祉課 ☎0848・67・6055
幼稚園長 嘱託員	7,740円	週5日、1日5時間50分	幼稚園児の教育、施 設の維持・管理、所 属職員の指導・監督	教員免許(養護教諭・栄養教 諭を除く)を持っている人	1人	教育振興課 ☎0848・67・6151
青少年 指導相談員	10,320円	週3日、1日7時間45分 土曜日勤務あり	青少年指導上の諸 問題に関する相 談・指導業務	小学校教員免許または中学校 教員免許(養護教諭・栄養教諭 を除く)を持っている人	2人	学校教育課 ☎0848・67・6155
青少年 支援相談員	10,320円	週3日、1日7時間45分	青少年の問題行動 に関する相談・指 導業務	相談活動に熱意と豊かな識 見を持っている人	1人	

受付期間 平成27年3月2日(月)~16日(月)

用意する物 履歴書、応募資格を証明するものの写し

選考方法 書類審査・面接

※詳しくは、保険医療課にお問い合わせください。

職種	報酬(月額)	勤務日・時間	業務内容	応募資格	定員	申し込み・問い合わせ先
看護師 嘱託員	8,280円	週5日、1日5時間50分	看護師業務(勤務 地:大和診療所)	看護師または准看護師の資 格を持っている人	1人	保険医療課 ☎0848・67・6056

みはら元気創造プラン(長期総合計画)のパブリックコメント(市民意見公募)

意見を募集する計画 みはら元気創造プラン(長期総
合計画基本計画)

計画の概要 長期総合計画とは市のまちづくりの指
針となる計画で、基本構想と基本計画で構成。基
本計画は、10年後の市の将来ビジョンを定めた基
本構想に基づき、前期5年(平成27~31年度)で実
施する施策などをまとめたもの

計画の公表と意見の提出期間 11日(水)まで

計画の公表場所 政策企画課、各支所、情報公開コー
ナー(市役所本庁3階)、市ホームページ

意見を提出できる人 市内に在住・在勤・在学の人、ま
たは事業所がある個人・法人

意見の提出方法 持参、郵送、ファクスまたはEメー
ルで意見書(各公表場所、市ホームページに用意)
を政策企画課(〒723-8601港町三丁目5番1号☎
0848・67・6009☎0848・64・7101✉seisakukika
ku@city.mihara.hiroshima.jp)、または各支所へ
※意見に対する個別の回答は行いません。市ホーム
ページなどで、提出された意見と市の考え方をまと
めて公表します。

☎政策企画課(市役所本庁3階)

☎0848・67・6009

老人大学(ふれあい大学)新入生を募集します

期 間 5月(一部は4月)～来年2月(月2回、年20回)

時 間 午前＝10時～11時30分
午後＝13時30分～15時

対 象 大学＝昭和30年4月1日以前に生まれた人
大学院＝その教科を3～5年以上学習した人、または同等の力がある人

入学金 大学＝6,000円(2教科目からは5,000円)
大学院＝5,000円

※材料費などは別途、実費が必要です。

申し込み 3月7日(土)(消印有効)までに、往復はがき(1枚につき1教科のみ)に記入例のとおり記入し、老人大学事務局(〒723-0004館町二丁目3番1号)へ

※年度途中の入学はできません。
※応募多数の場合は抽選します。



記入例

往信(表)	返信(裏)	返信(表)	往信(裏)
52 往信 7230004 老人大学事務局 三原市館町二丁目3番1号		52 返信 応募者の名前様 応募者の住所	①希望する教科名 ②郵便番号 ③住所 ④名前(ふりがな) ⑤電話番号

※黄色の部分に記入してください。※1枚につき1教科のみ。

教科名	学習日(曜日)	定員	ところ
編物	第2・4(金)午前	各40人	老人大学
生花	第2・4(水)午前		
陶芸	第2・4(木)午前		
レザークラフト	第1・3(金)午後	25人	
パッチワーク	第1・3(木)午前	各40人	
囲碁A(初級者)	第1・3(金)午後		
囲碁B(中・上級者)	第2・4(火)午後		
脳力トレーニング①	第1・3(木)午前		
脳力トレーニング②	第1・3(木)午後		
英会話(中学生程度)	第1・3(火)午後		
短歌	第1・3(木)午後		若干名
俳句	第1・3(水)午後	35人	
書道かな①	第2・4(水)午前	各40人	
書道かな②	第2・4(水)午後		
書道漢字①	第1・3(水)午前		
書道漢字②	第1・3(水)午後		
絵手紙①	第2・4(木)午前		
絵手紙②	第2・4(木)午後		
写真	第2・4(水)午前	各35人	
水彩画	第2・4(金)午前		
日本画	第1・3(火)午前	30人	
草花栽培	第2・4(木)午前	各35人	
ミニ盆栽盆景	第2・4(火)午後		
コーラス	第1・3(金)午前	80人	
歌謡(カラオケ)	第2・4(土)午前	40人	
大正琴	第2・4(木)午後	各30人	
複音ハーモニカ(経験者)	第2・4(火)午後		
民謡①	第2・4(金)午前	各40人	
民謡②	第2・4(金)午後		
パソコン入門	第1・3(火)午後	各26人	
画像初級	第2・4(水)午後		

教科名	学習日(曜日)	定員	ところ
健康体操	第2・4(水)午後	50人	サン・シープラザ
3B体操	第1・3(火)午後	各40人	リージョンプラザ
舞踊	第1・3(水)午前		
太極拳	第1・3(水)午後		
染色	第2・4(水)午後	25人	三原小学校
料理①	第2・4(火)午前	各38人	市民福祉会館
料理②	第2・4(水)午前		
料理③	第2・4(木)午前		

◆本郷教室

教科名	学習日(曜日)	定員	ところ
カラオケ	第1・3(金)午後	60人	本郷公民館
料理	第1・3(水)午前	36人	本郷生涯学習センター
パソコン(経験者)	第1・3(火)午後	若干名	

◆大和教室

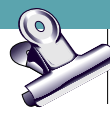
教科名	学習日(曜日)	定員	ところ
パソコン	第1・3(火)午前	25人	神田公民館

◆大学院

教科名	学習日(曜日)	定員	ところ
草木染め(経験者)	第2・4(火)午後	15人	市民福祉会館

※パソコンは進級制のため、入門以外は募集しません。
※定員に達しない教科は、3月31日(火)まで受け付けます。詳細は事務局へ問い合わせてください。
※「画像初級」はパソコン歴5年以上で、メール送受信やウェブ閲覧ができ、デジカメ所有の人に限りです。

老人大学事務局 ☎兼用0848・64・6868
※月曜日は休校日です。



公民館・コミュニティセンターの教室 受講生募集

と き 5月～来年2月


受講料 月2回講座＝年額3,000円、月1回講座＝年額1,500円

※材料・教材費などは別途、実費が必要です。

申し込み 3月18日(水)(必着)までに、往復はがき
(1枚につき1教室のみ)に記入例のとおり記入し、
各申し込み先へ


※申し込み多数の場合は抽選します。定員に満たない
ときは、開講しない場合があります。

※日程などを変更する場合があります。

※は新規の教室です。

記入例

52 往信 各申し込み先 各申し込み先の住所 52 往信	返信(裏)	52 返信 応募者の名前 応募者の住所 52 返信	返信(表)	往信(裏)
---	-------	--	-------	-------

※の部分に記入してください。※1枚につき1教室のみ。
※記入の際、字の消えるボールペンは使わないでください。

■三原地域

施設名	教室名	開設日	時間	各定員	申し込み先
中央公民館	ホームステイの英会話(初級)	第1・3(月)	13:30～15:00	25人	〒723-0015 円一町二丁目3番1号 ☎0848-64-2137
	英会話入門(夜)	第1・3(月)	18:40～20:10	20人	
	TOMORROW英会話	第2・4(水)	13:30～15:00	30人	
	初めての中国語	第2・4(月)	18:30～20:30	20人	
	初めてのハングル講座	第1・3(火)	18:30～20:30	30人	
	ステップアップハングル講座	第2・4(火)	18:30～20:30	30人	
	基本形から始めるフラワーアレンジメント	第2(月)	10:00～12:00	45人	
	手縫いで楽しむ古布実用小物	第2・4(金)	13:30～15:30	16人	
	パレトンでシェイプアップ	第1・3(水)	10:30～11:30	30人	
	手話	第1・3(土)	9:30～11:30	20人	
	季節のスイーツ	第1(月)	10:00～13:00	16人	
	アート書道	第1・3(月)	13:30～15:30	20人	
	体幹鍛えて元気なづくり	第2・4(木)	10:00～12:00	35人	
	やさしい家庭料理	第3(水)	10:00～13:00	24人	
手ごねのパンを作ろう	第2(土)	10:00～13:00	24人		
親子で英語あそび	第2(水)	15:00～16:00	4～6歳児とその保護者15組		
[三原学]事始め	第3(土)	10:00～12:00	25人		
地域学習センター(さざなみ学校)	竹細工	第1・3(木)	9:00～15:00	25人	〒729-0324 糸崎五丁目10番7号 ☎0848-62-6799
	パッチワーク	第1・3(水)	10:00～12:00	20人	
	フラワーリース	第2(火)	(5月～10月) 14:00～16:00 (11月～2月) 13:30～15:30	25人	
	すっきりヨガ	第2・4(木)	13:30～15:00	20人	
糸崎コミュニティセンター	姿勢を良くする体幹ストレッチ	第1・3(月)	13:45～15:00	20人	〒729-0324 糸崎五丁目10番7号 ☎0848-62-6799
	美味しいランチをつくろう	第1(水)	9:30～12:00	15人	
	ティールームのお菓子作り教室	第2(木)	13:00～16:00	12人	
中之町コミュニティセンター	社交ダンス	第1・3(金)	13:30～15:00	20人	〒723-0003 中之町二丁目2番1号 ☎0848-64-4099
	ホームステイの英会話	第3(火)	13:30～15:00	15人	
	おうちで出来る本格イタリアン	第2(木)	10:00～12:30	15人	
宮浦コミュニティセンター	リトミック(音楽あそび)①	第1(金)	10:30～11:30	1歳～2歳未満児とその保護者15組	〒723-0051 宮浦六丁目9番22号 ☎0848-62-7944
	リトミック(音楽あそび)②	第3(水)	10:30～11:30	2歳以上～未就園児とその保護者20組	
	手作りパン教室	第1(水)	9:30～12:00	15人	
	幸せなお菓子作り	第1(月)	13:00～15:00	12人	
沼田東コミュニティセンター	オカリナ 基礎講座	第1・3(火)	14:00～16:00	20人	〒723-0145 沼田東町片島716番地 ☎0848-66-3179
	たのしい絵てがみ	第2・4(水)	9:30～11:30	20人	
須波コミュニティセンター	コーラス	第2・4(金)	10:00～11:30	20人	〒723-0031 須波一丁目3番1号 ☎0848-67-0512
	パン作り教室	第3(月)	10:00～13:00	20人	
	アロマは家庭の薬箱	第3(金)	10:00～11:30	20人	
幸崎コミュニティセンター	歌謡教室	第1・3(火)	13:30～15:30	30人	〒729-2252 幸崎能地三丁目8番13号 ☎0848-69-0001
	チェアピクス	第2・4(水)	13:30～15:00	30人	
鷺浦コミュニティセンター	絵画(絵手紙)	第3(金)	9:30～11:30	15人	〒723-0022 鷺浦町向田野浦675番地4 ☎0848-87-5004
	健康体操	第1・3(火)	9:30～11:30	20人	

■本郷地域

施設名	教室名	開設日	時間	各定員	申し込み先
本郷生涯学習センター	茶道(裏千家)	第1・3(水)	10:00~12:00	12人	〒729-0417 本郷南六丁目25番1号 ☎0848・85・0701
	パソコン初心者講座 (Windows Vista・7・8限定)	第1・3(月)	13:30~15:30	20人	
	パソコン初級講座 (Windows Vista・7・8限定)	第1・3(木)	13:30~15:30	20人	
	パソコン中級講座 (Windows Vista・7限定)	第2・4(火)	9:30~11:30	20人	
	食育すまいるクッキング	第1(火)	10:00~13:00	12人	
	やさしくストレッチ (体幹トレーニング)	第2・4(火)	13:30~15:00	20人	
	ハンブル初心者講座	第2・4(火)	13:30~15:00	15人	
	たのしく英会話	第2・4(水)	13:30~15:30	20人	
	押し花で飾ろう	第1・3(金)	13:30~15:30	15人	
	歌声のチカラ	第2・4(水)	13:30~15:00	20人	
	たのしみ絵画 (水彩・油彩・パステル)	第1・3(木)	13:30~15:30	15人	
	くらしの筆文字講座	第1・3(土)	10:00~12:00	20人	
	囲碁講座	第1・3(木)	9:30~11:30	20人	
	基礎からの書道	第2・4(木)	13:30~15:30	16人	
本郷公民館	リコーダーでたのしく脳トレ	第1・3(金)	13:30~15:00	15人	〒729-0414 下北方一丁目2番24号 ☎0848・86・4811
	しの笛教室	第1・3(月)	19:00~20:30	15人	
	気功	第2・4(土)	16:30~18:00	30人	〒729-0417 本郷南六丁目25番1号 ☎0848・85・0701
本郷コミュニティセンター	男性の基本料理	第4(月)	10:00~14:00	12人	
	和紙ちぎり絵	第1(金)	13:00~16:00	16人	〒729-0411 本郷町船木1949番地 ☎0848・86・6731
船木コミュニティセンター	手作りパン講座	第3(金)	9:30~12:00	12人	
	古布リメイク実用小物創り	第2・4(水)	13:30~15:30	15人	〒729-0415 本郷町上北方1023番地1 ☎0848・86・6237
北方コミュニティセンター	3B体操	第2(月)	13:30~15:00	20人	
	グラウンドゴルフ教室	第3(土)	13:00~15:00	30人	
	革細工を楽しむ会	第3・4(月)	13:30~15:30	15人	〒729-0413 本郷町南方3985番地1 ☎0848・86・4858
南方コミュニティセンター	歌声教室	第2・4(水)	13:30~15:00	30人	
	いきいき元気体操	第1・3(金)	13:30~14:30	30人	

■久井地域

施設名	教室名	開設日	時間	各定員	申し込み先
くい文化センター	ワイヤークラフト	第1(金)	13:30~15:30	15人	〒722-1412 久井町和草1883番地6 ☎0847・32・7138
	ステキな古布のよみがえり	第3(火)	13:30~15:30	15人	
	ペン習字	第4(月)	13:00~14:30	15人	
	気功	第1(土)	14:30~16:00	20人	
久井公民館	始めてみようハーモニカ	第1(月)	13:30~15:30	15人	〒722-1412 久井町和草614番地 ☎0847・32・7139
	初心者への生け花教室	第3(火)	10:00~12:00	15人	
	古布で遊ぼう	第2(火)	13:30~15:30	15人	
	みんなで楽しむ世界の踊り	第3(火)	13:30~15:30	20人	
久井南コミュニティセンター	フラワーアート教室	第3(水)	19:30~21:30	20人	〒722-1416 久井町山中野1337番地 ☎0847・32・6316
	ふるさと料理教室	第4(土)	9:30~12:00	25人	
	マイパソコンを活用しよう	第2・4(水)	13:30~15:00	22人	

■大和地域

施設名	教室名	開設日	時間	各定員	申し込み先
大和文化センター	着物着付け教室	第2(金)	13:30~15:00	10人	〒729-1406 大和町下徳良111番地 ☎0847・33・1115
	楽しいデコパージュ	第4(水)	13:30~15:30	10人	
	カラーセラピー	第2(月)	10:00~11:30	20人	
	フォークダンス	第2・4(木)	13:30~15:30	20人	
	健康づくり3B体操	第3(水)	13:30~15:00	15人	
神田公民館	ゆっくり気功	第1・3(火)	14:00~16:00	30人	〒729-1406 大和町下徳良106番地1 ☎0847・33・1725
	英語であそぼう	第2・4(土)	10:00~12:00	小学1~3年生 小学4~6年生 各15人	
大草公民館	バレトン教室	第1・3(火)	20:00~21:00	20人	〒729-1211 大和町大草9131番地2 ☎0847・34・0032
	太極拳	第2・4(月)	19:30~20:45	15人	
和木公民館	アロマでいきいき!	第3(木)	10:00~11:30	15人	〒729-1321 大和町和木1531番地6 ☎0847・34・0804
	操体法	第2(金)	13:30~15:30	15人	
	オリジナルパッチワーク教室	第4(金)	10:00~12:00	15人	
	季節のドライフラワーアレンジメント	第3(月)	14:00~16:00	15人	
椹梨公民館	ステップUPパソコン	第2・4(金)	13:30~15:00	20人	〒729-1331 大和町椹梨1004番地 ☎0847・34・0252
	グラウンドゴルフ教室	第3(土)	9:00~12:00	20人	
	入門グラウンドゴルフ	第3(水)	9:00~12:00	15人	

小佐木島特別展示会



▲千住 博さん

TIDE WATER 千住 博×柳 幸典 コラボレーション バイオ アイランド プロジェクト 小鷺島Bio-Isle Project

代表作「ウォーターフォール」でベネチア・ビエンナーレ絵画部門の名誉賞を受賞した日本画家千住 博さんが、小佐木島をイメージして制作した「タイドウォーター」の展示をはじめ、自然と一体となった絵画展を開催します。島の豊かな自然と芸術作品が織りなすここでしか味わえない魅力を感じることができます。

3月28日(土)～5月5日(火) 9時30分～16時※3月28日(土)は11時～。

ところ 小佐木島(鷺浦町) 特設会場「BH2」

※小佐木港へは三原港から高速船で約13分。会場へは港から徒歩約1分。

内容 千住 博さんによる小佐木島をイメージした作品「タイドウォーター」と代表作「ウォーターフォール」の2作品を、現代美術作家の柳 幸典さんとデザイナーの八木 健太郎さんが手掛けた再生古民家「BH2」で展示

関連行事

市民ギャラリー特別展示

3月24日(火)～4月8日(水) 9時～16時30分

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)

展示作品 水野晃一さん「海」、田中 猛さん「初夏の剣と早月溪流」ほか

☎政策企画課(☎0848・67・6011)

小佐木島の自然観察会&特別展示会鑑賞

みはらし環境会議・水辺環境みなおし隊が自然観察会をセットにした鑑賞ツアーを実施します。

3月30日(月) 8時～12時30分

ところ 集合:三原港

内容 小佐木島の自然散策と特別展示会の鑑賞

定員 60人(申し込み先着順)

参加費 1,000円(往復の乗船代は不要)

※昼食代・教材費を含む。

※昼食が不要の場合は参加費500円。

申し込み 3月13日(金)(必着)までに、郵送、ファクスまたはEメールで①郵便番号・住所②名前③年齢④電話番号⑤昼食の希望の有無を生活環境課(〒723-8601港町三丁目5番1号☎0848・67・6194FAX0848・67・6164✉seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp)へ



豪華客船「にっぽん丸」船内見学会

4月5日(日) 10時30分～11時30分

ところ 糸崎岸壁(糸崎南2丁目)

内容 豪華客船「にっぽん丸」の船内見学

対象 市内在住の人

定員 50人

※応募者多数の場合は抽選。

参加費 無料

申し込み 3月13日(金)(必着)までに、往復はがきで参加希望者(2人まで)の①住所②名前③年齢④電話



番号を港湾課(〒723-0015円一町二丁目3番4号)へ
 ※寄港は8時～18時(予定)。岸壁から自由に見学可。
 ☎港湾課(☎0848・67・6108)

三原ゆかりの浄瑠璃作家 並木宗輔顕彰事業

文楽ノススメ ワークショップ in ポポロ 参加費無料

江戸時代に文楽の黄金期を築いた三原ゆかりの浄瑠璃作家 並木宗輔の功績をたたえ、文楽について分かりやすく学ぶ体験型のワークショップを開催します。講師に人形浄瑠璃文楽座の出演者を招き、文楽の魅力や並木宗輔の功績について紹介してもらいます。



8日(日)①13時～②16時～

※内容は①②とも同じです。

ところ 芸術文化センター ポポロ ホワイエ

内容 太夫・三味線・人形についての解説と体験、並木宗輔について解説など

講師 豊竹 希大夫さん(太夫)、鶴澤清公さん(三味線、三原市出身)、吉田文哉さん(人形)

定員 各150人(先着順)

※希望者は直接、会場へ。



つるまわせいこう
▲鶴澤清公さん
(三原市出身)

関連行事

並木宗輔パネル展

3日(火)～13日(金)9時～18時 ※13日は16時まで。

並木宗輔の功績をパネルで紹介します。

ところ 芸術文化センターポポロ ホワイエ

入場料 無料

☎文化課(☎0848・64・9234)



▲並木宗輔(早稲田大学図書館所蔵「忠臣蔵岡目評判」より)

並木宗輔は、江戸時代中期に活躍し、文楽の黄金時代を築いた浄瑠璃作家です。三大名作「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」の合作では最も中心的な役割を果たしました。大阪で浄瑠璃作家になる前は、三原市本町の成就寺で僧侶として修行していました。

国際交流講演会

日本と海外の異文化交流～それぞれの視点から～

“旅人”という共通点を持つ2人の講師が、異文化交流について自身の体験談にもとづいて講演。ダイアン吉日さんは落語、坂本 達さんは自転車というそれぞれの切り口から、ユーモアあふれるエピソードを交え、分かりやすく話します。

15日(日)14時～16時

ところ リージョンプラザ 文化ホール

演題・講師

第1部:「～ニッポン大好き～ 落語に魅せられて」
英語落語家 ダイアン吉日さん

第2部:「夢に向かって! 今、あなたにできること」
株式会社ミキハウス社長室(自転車の世界を走る会社員) 坂本 達さん

定員 400人(先着順)

参加費 無料

☎政策企画課(☎0848・67・6011)



▲ダイアン吉日さん



▲坂本 達さん

道の駅「みはら神明の里」

3周年記念イベント

21日(土・祝)・22日(日)

内容 地元食材をふんだんに使った記念メニュー「見晴らし六膳ランチ」(キッチンルマーダ)、「神明鶏モツ煮」の販売(限定50食)、三原二之丸会による甲ちゅう姿でのおもてなし、食料品の展示即売会 など

☎道の駅「みはら神明の里」(☎0848・63・8585)



リージョンプラザ

映画のつどい

7日(土)

- ①10時30分～
- ②13時30分～
- ③17時～

永遠の0 特別劇場



家族を愛した心優しきパイロットは、何を願って飛んだのか……。

27日(金)

- ①10時30分～
- ②14時～
- ③18時30分～

紙の月 特別劇場



真っ当な人生を歩んでいたはずの主婦が起こした、巨額横領事件。彼女は何を手に入れ、何を手放したのか。

※PG-12指定作品。12歳未満の鑑賞には成人保護者の同伴が適当です。

入場料 1,800円(1,500円)、大学生1,500円(1,300円)、3歳～高校生1,000円(800円)、60歳以上1,100円、夫婦のどちらかが50歳以上 2人で2,200円

※()内は割引券持参の場合。

※障害者手帳を持参の人は1,000円。

割引券設置場所 リージョンプラザ、ポポロ、うきしろロビー、中央図書館、中央公民館、各文化センター、フジグラン三原 ほか

県内の観光情報

第3回広島みなとフェスタ

7日(土)・8日(日) 10時～16時

ところ 広島みなと公園とその周辺、似島

内容 広島港を中心に「みなと」をテーマに開催する大規模イベント。グルメ広場や体験広場などを開催。ミハラッキーとらっきー神社も登場し、三原をPRします



同実行委員会事務局 (☎082・250・8935)

よく飛ぶ、おり紙ヒコーキ教室

15日(日) ①10時～②13時～

ところ 南館 第2研修室

内容 飛行機の仕組みを取り入れたおり紙ヒコーキを作るワークショップ

講師 おり紙ヒコーキ協会認定指導員

定員 各30人

※1人で作れない子どもは保護者同伴。

参加費 300円(材料代)



パソコン・インターネットの使い方 集中講座

12日(木)・26日(木) 13時～15時30分

ところ 南館 会議室

内容 インターネットの使い方や生活への取り入れ方などを学べる初心者向けの講座

講師 篠崎初光さん

定員 各6人(申し込み先着順)

参加費 各2,000円

用意する物 ノートパソコン



絵本づくり教室

3月14日～6月13日の土曜日(全12回)

午前の部:9時30分～12時

午後の部:13時～15時30分

※5月2日・16日を除く。

ところ 練習室

内容 絵本「きこえる?」で世界的に権威のあるブラチスラバ世界絵本原画展の準グランプリを受賞した講師による絵本の制作講座

講師 はいじま のぶひこさん

対象 小学4年生以上

定員 各10人(申し込み先着順)

参加費 24,000円(全12回分)



絵本「きこえる?」▶



リージョンプラザ (☎0848・64・7555)

三原駅前市民広場

14日(土)8時~11時 軽トラ朝市

内容 市内業者が生産・加工した農水産物の販売

出店者の募集 出店料 無料
申し込み 商工会議所へ

15日(日)10時~17時 第5回三原元気まつり

内容 ステージイベント、飲食ブース、フリーマーケット、クラフト市

商工会議所(☎0848・62・6155)

宇根山天文台

プラネタリウム上映と 春の星空観望会



21日(土)18時~22時

ところ 宇根山天文台(久井町吉田)

内容 デジタルプラネタリウム上映と木星・カノープスの観望

入場料 310円、中高生210円、小学生100円、小学生未満無料

生涯学習課(☎0848・64・2137)

みんなの男女共同参画講演会

21日(土)13時30分~15時

ところ 市民福祉会館 大会議室

講師 河野産婦人科クリニック院長 河野 美代子さん

演題 DV(ドメスティックバイオレンス)とその対応~臨床の現場から~

定員 150人(先着順)

※希望者は直接、会場へ。

人権推進課(☎0848・67・6044)



▲河野 美代子さん

市民学芸員企画

新高山城跡見学会

29日(日)10時~15時※雨天中止。

ところ 集合:本郷支所前

内容 新高山城跡を市民学芸員の解説付きで見学

定員 50人(先着順)

参加費 300円

用意する物 登山に適した服装、昼食、飲み物

申し込み 郵送またはファクスで①住所②名前③電話番号④行事名を文化課(〒723-0014城町一丁目2番1号☎0848・64・9234☎0848・67・5912)へ

芸術文化センター ポポロ

Let'sホワイエ 第4回

リチェルカーレ ほんわかコンサート

木製リコーダーによるアンサンブルの
温かい音色を楽しんでください

15日(日)14時30分~

ところ ホワイエ

入場料無料

予定曲 ターフェルムジーク/テレマン、レット・イット・ゴー~ありのまままで~、四季メドレー、ブルータンゴ ほか

出演 リコーダー
アンサンブル リ
チェルカーレ



▲リチェルカーレ

気軽にライブ

ナチュレ アミカーレ カルテット

Nature Amicale Quartet スプリング・コンサート

入場券販売中

春のひと時、光溢れるホワイエで弦楽アンサンブルの
豊かな音色を楽しんでください

4月19日(日)14時~

ところ ホワイエ

予定曲 踊り明かそう、G線上のアリア、花は咲く ほか

出演 西山枝里(バイオリン)、福本聖子(バイオリン)、
白石雅也(ビオラ)、寺田 萌(チェロ)

入場料 1,000円



▲ナチュレ・アミカーレ・カルテット

ポポロクラブ新規会員を募集

入場料の割り引きや情報紙「ポポロ」の送付などの特典
を受けることができます。

有効期限 来年3月末まで

年会費 2,000円

申し込み 直接、ポポロ窓口へ

芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)

生活情報 掲示板

1日(日)～7日(土) 春の全国火災予防運動

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。防火の設備を整え、火元に注意しましょう。

★全国山火事予防運動

たき火は、枯れ草などのある場所を避けましょう。火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火しましょう。

問い合わせ先 消防本部予防課

(☎0848・64・5927)

三原の情報を発信中

テレビ番組

三原ハッピー旅めぐり

放送日時 27日を除く金曜日21時54分～22時

放送局 中国放送(RCCテレビ)

ラジオ番組三原ハッピー中継

放送日時 28日(土)10時35分～
放送局 中国放送(RCCラジオ)

問い合わせ先 観光課(☎08

48・67・6015)

21日(土)・22日(日)は
窓口業務、自動交付機、
予約システムを休止

21日(土)・22日(日)は、システムの点検に伴い、次の業務を休止します。

休止する業務	問い合わせ先
サン・シープラザの窓口業務	保健福祉課 (☎0848・67・6234)
市役所本庁1階の自動交付機	市民課 (☎0848・67・6047)
窓口での公共施設の予約、市ホームページの公共施設予約システム	スポーツ振興課 (☎0848・64・7219)

みはら能地フィッシャリーナ
を利用してください



能地漁港の係留・保管施設(幸崎能地四丁目)にプレジャーボートを係留しませんか。
募集区画 若干数
※利用料は船の長さ、幅で異なります。詳しくは、募集要領で

水道管の漏水確認を

水道管は、凍結や老朽により漏水することがあります。漏水の発見が遅れると、水量が増え、使用料金が増える場合があります。各家庭で漏水確認をしましょう。

漏水確認方法

全てのじゃ口を閉めた状態で、水道メーターのパイロットが回ってれば漏水です。指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。



※修理費用は各家庭の負担です。※漏水に対して水道料金の軽減を受けられる場合もあります。

問い合わせ先 水道部工務配水課
(☎0848・64・2294)

確認してください。

※応募者多数の場合は抽選。

申し込み 13日(金)までに、申込書(農林水産課、市ホームページに用意)を農林水産課

(☎0848・67・6077)へ

市有地を販売します

(一般競争入札)

所在地 和田三丁目693番

17(公簿面積)168.59㎡

受付期間 17日(火)～19日(木)

申し込み先 管財課(☎084

8・67・6012)

NHKBS日本のうた 放送日の案内

先月12日、芸術文化センター

ポポロで公開収録された番組

が、次の日程で放送されます。
放送日 8日(日)19時30分～20

時59分、再放送 14日(土)12時～13時29分

※放送予定は、変更になる場合があります。

放送局 NHKBSプレミアム
問い合わせ先 文化課(☎08

48・64・9234)

土砂条例を4月から施行

土砂の崩壊や流出による災害を防止し、市民生活の安全を確保する目的で小規模土砂埋立に関する条例を施行します。

4月以降、500㎡以上の土砂埋立行為は、市の許可が必要になります。条例施行前に土砂埋立行為を行なっている場合でも、7月1日以降に完了するのは許可が必要です。

問い合わせ先 農林整備課(☎0848・67・6185)

シュテファン・ティエルシュ作品展 広島県立三原特別支援学校作品展

対人恐怖症の絶望的な思いを希望に変えたドイツ人画家 シュテファン・ティエルシュの作品と三原特別支援学校の生徒の作品を展示します。



▲シュテファン・ティエルシュ
とき 10日(火)～15日(日)10時～18時
ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)
問い合わせ先 文化課(☎0848・64・9234)

善根寺の仏像一般公開

平安時代初期の薬師如来を中心に一木造りの仏像について解説します。県・市の重要文化財に指定されている仏像を拝観しませんか。



とき 15日(日)9時～12時
ところ 善根寺(小坂町)
 ※パンフレット「善根寺の仏像」が新しくなりました。一部300円で販売します。
問い合わせ先 文化課(☎0848・64・9234)

新成人の皆さん、記念品の引き換えは済みましたか

とき 27日(金)まで

ところ 生涯学習課(中央公民館)

対象 新成人のつどいで記念品を受け取っていない人

用意する物 記念品引換券

※引換券を紛失した場合は、問い合わせてください。

問い合わせ先 生涯学習課(☎0848・64・2137)

催し

三原市歴史民俗資料館 常設展示説明会

とき 14日(土)①10時②14時

ところ 三原市歴史民俗資料館

内容 展示替えをした常設展の解説

講師 三原市歴史民俗資料館解説専門員 福井万千さん

定員 各20人(先着順)

問い合わせ先 文化課(☎0848・64・9234)

三原地域・就職ガイダンス

とき 6日(金)12時～16時

ところ ゆめきやりあセンター(館町二丁目)

対象 市内に就職希望で今春・来春卒業予定の大学・短大・専門学生、既卒者(3年以内)

※12時～13時50分、就職支援セミナー・職種説明を開催。

※参加事業者は、市ホームページに掲載。

問い合わせ先 商工振興課(☎0848・67・6072)

手話奉仕員の養成講座

とき 4月3日～来年2月5日の金曜日(全40回)①10時30分～12時②19時～20時30分

ところ サン・シープラザ

内容 聴覚障害の基礎学習と日常会話手話の習得

対象 高校生以上

受講料 無料(教材費・保険料として1,100円必要)

申し込み 3月31日(火)までに、ボランティア・市民活動サポートセンター(☎0848・67・9339)へ

地元ガイドとまち歩き

とき 毎週土曜日10時30分～12時

ところ 集合：うきしろロビー(JR三原駅構内)

内容 三原城天主台、一番櫓など希望する場所を案内

参加費 無料

問い合わせ先 三原観光協会(☎0848・67・5877)

中央公民館

作品展・学習発表会

とき 7日(土)・8日(日)9時～17時(8日は16時まで)

ところ 中央公民館

内容 市の主催講座などの発表

問い合わせ先 生涯学習課(☎0848・64・2137)

南方ふるさとふれあい祭

とき 8日(日)9時30分～15時30分

ところ 南方コミュニティセンター

内容 作品展示、舞台発表など

問い合わせ先 南方コミュニティセンター(☎0848・86・4858)

世界一の口笛演奏会

とき 29日(日)14時～15時30分

ところ 市民福祉会館

出演 国際口笛コンクール優勝者 奥田憲弘さん(三原市出身)

※整理券を画廊荘美(皆美二丁目)、みはらまちづくり兔っ兔(港湾ビル内)で配布。

問い合わせ先 上野さん(☎090・9461・8608)

センチピードグラス 種子吹き付け講習会

とき 25日(水)13時30分～15時
ところ 大和文化センター

内容 市販機材を使った農地の
のり面への種子吹き付け方法

対象 市内在住の農業者

定員 30人(多数の場合抽選)

★吹き付け機材の貸し出し

講習会受講者を対象に吹き付

け機材の貸し出しを予定してい
ます。貸し出し希望者は、必ず
この講習会を受講してください。

申し込み 12日(木)までに申込

書(提出先に用意)を農林水産
課(☎0848・67・6077)

または各支所へ

よつてみんさい市民ギャラリー (2階) (アサヒティ三原西館2階)

○直美の部屋コンサート

～木管五重奏～

とき 8日(日)14時～

○三原やっさ踊り振興協議会公

開練習

とき 10日(火)18時30分～

○三原市文化協会デジタル写真展

とき 18日(水)～22

日(日)10時～18時

(18日は12時から、

22日は16時まで)



○キャノンフォトクラブ備後写

真展

とき 18日(水)～22日(日)10時

～18時(18日は12時から、22
日は16時まで)

○親子で楽しめる吹奏楽ミニコ

ンサート

とき 21日(土)11時～

○いけばな閑漣流展「創造の春」

とき 27日(金)～29日(日)9時

～18時(29日は16時まで)

問い合わせ先 文化課(☎08

48・64・9234)

だるま制作体験教室

とき 月・木曜日13時～16時、

21日を除く土曜日10時～12時

ところ 三原だるま工房(港町

一丁目)

内容 土台作りから面相描きまで

※面相描きのみもできます。

定員 各8人(申し込み先着順)

参加費 500円

申し込み先 三原観光協会(☎

0848・67・5877)

精神保健福祉ネットワーク

「つながり♥ネットみはらまつり」

～誰もが安心して生活できる地

域づくり～

とき 7日(土)11時30分～15時

第24回三原さつき祭り さつきパレードの 参加団体を募集

とき 5月30日(土)13時30分～
コース 宮浦中学校南交差点～芸
術文化センター ポポロ(約1.2km)



申し込み 4月6日(月)(必着)ま
でに、郵送かファクスで、①団体
名②演技をする場合はその内容
③人数④代表者の住所・名前・電
話番号を、商工会議所(〒723-
8555皆実四丁目8番1号 ☎084
8・62・6155)☎0848・62・5900へ

募集

広報モニター

任期 6月～来年2月

内容 広報

みはらや

市ホーム

ページな

どの点検・評価(9回)、会議

への出席(2回)

応募資格 市内在住か、通勤・

通学している15歳以上の人

報酬 5,000円相当の特産品

申し込み 27日(金)までに申込

書(提出先、市ホームページ)

文化協会会員・教室受講生

「会員」映画鑑賞部

特典 映画3本の無料鑑賞

入会費 500円

年会費 1,500円

「教室の受講生」

①洋画教室②写真教室(デジタ

ルカメラ初心者コース)

とき ①第1・3土曜日13時～

17時②第3土曜日9時～12時

ところ 中央公民館

入会費 ①②500円

受講料 ①500円/回②3,

000円/年

申し込み先 三原市文化協会

(文化課内 ☎0848・64・9

234)

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、2日(月)10時からです。

講座名	とき	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先
けん玉教室	18日(水) 13時30分～15時	幸崎コミュニティセンター	大人	20人	100円	16日(月)まで	幸崎コミュニティセンター (☎0848・69・0001)
クラフト教室(あじろ編みのかごバック)	①19日(木) 13時～16時 ②26日(木) 13時～15時 (全2回)	宮浦コミュニティセンター		10人	1,000円	13日(金)まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)
4月の絵手紙カレンダーを作ろう	26日(木) 13時30分～15時30分	糸崎コミュニティセンター	小学生	10人	500円	20日(金)まで	糸崎コミュニティセンター (☎0848・62・6799)
知って得する便利なロープの結び方	28日(土) 13時30分～15時	須波コミュニティセンター		20人	無料		須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)

図書館アラカルト

休館日 中央図書館=21日(土・祝)
本郷・久井・大和図書館=火曜日、21日(土・祝)

中央図書館(☎0848・62・3225)

●漆—JAPAN—展

とき 3月8日(日)まで

内容 時絵などの技法が施された漆器を展示



●ぼけっといっぱいのおはなし会

とき 5日(木)11時～11時30分



●ねむの木 おはなしのひろば

とき 7日(土)10時30分～11時30分

●虹の会 絵本のおよみかたり

とき 14日(土)・28日(土)14時～14時30分

※28日は手話通訳もあります。

●虹の会 0歳からのよみかたり

とき 20日(金)10時30分～11時、11時15分～11時45分

●読書会

とき 23日(月)13時30分～15時30分

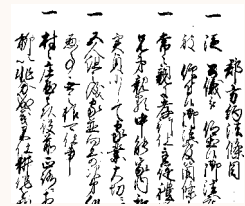
内容 フリートーク

●古文書読解初心者講座

とき 平成27年4月～平成29年3月の第2・4木曜日14時～15時30分

ところ 2階 視聴覚室

内容 江戸時代に書かれた、三原浅野の農民に倅約を求める内容の古文書『安永9年申聞せ覚書』を教材に、読み方を学ぶ



講師 歴史民俗資料館解説専門員 新畑末男さん

定員 30人(申し込み先着順)

受講料 無料(初回のみ資料代500円が必要)

申し込み はがきかファクスで①講座名②名前③住所④電話番号を文化課(〒723-0014城町一丁目2番1号☎0848・64・9234☎0848・67・5912)

おすすめ本

『tupera tuperaの手づくりおもちゃ
子どもに作ってあげたくなる楽しくてかわいい19作品』
tupera tupera/著



絵本作家ユニット「ツペラツペラ」による愉快なおもちゃの作り方集。男の子も女の子も楽しめるおもちゃは、どれもかわいくて、身近にある材料で簡単に作れる物ばかり。楽しい手作りを始めてみませんか。

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

●おはなし会

とき 3日(火)10時30分～11時、14日(土)・28日(土)14時～15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

●おはなし会

とき 28日(土)13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

●絵本とおはなしの時間

とき 土曜日10時30分～11時



健康相談

とき	ところ
6日(金) 13時30分～16時	久井保健福祉センター (☎0847・32・8551)
12日(木) 13時15分～15時15分	サン・シープラザ (☎0848・67・6053)
23日(月) 13時15分～15時15分	大和保健福祉センター (☎0847・34・0960)

内容 健診結果の相談、食生活相談、血圧測定など
申し込み 各実施場所へ

いっしょのなんでも相談

とき 12日(木) 13時30分～15時30分
ところ サン・シープラザ4階
内容 精神科医師による相談
定員 2人(申し込み先着順)

運動や食について学ぼう

申し込み 10日(火)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ
運動普及リーダー育成講座
とき 5月～8月で全6回
※時間は10時～12時。
ところ ①サン・シープラザ②本郷保健福祉センター
内容 運動についての講義や実習

対象 75歳以下で、講座に4回以上参加でき、運動行事の補助や教室の開催など、運動普及のために活動できる人
食生活改善推進員の養成講座
とき 6月～12月で全6回
※時間は9時30分～15時。
ところ ①三原・本郷会場②久井・大和会場
内容 食生活を中心とした健康についての講義と調理実習



対象 70歳以下
で、講座に5回以上参加でき、修了後は健全な食生活を啓発する行事の補助など食育推進のために活動できる人
※男性も受講可能です。

申し込み いずれも20日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

高齢者向け運動機器利用のための講習会

とき ①18日(水) 14時～16時②19日(木) 13時30分～15時30分
ところ ①本郷福祉センター2階②サン・シープラザ3階
内容 運動機器を効果的に活用するための講習

対象 65歳以上で、要支援要介護認定を受けていない人
定員 各15人(申し込み先着順)
申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

もの忘れ相談

とき 12日(木) 13時30分～15時30分
ところ 市役所本庁4階

内容 介護相談員による認知症の介護・生活支援の相談
定員 2人(申し込み先着順)
申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

健骨・健康増進セミナー

食事・運動・生活習慣で認知症・骨粗しょう症予防
とき 21日(土) 9時30分～12時



こんにちは 保健師です

あなたの力で救える「いのち」があります
今月は自殺対策強化月間

平成25年中に自殺で亡くなった人の数は、27,283人。国は、自殺者数の最も多い3月を自殺対策強化月間と定め、活動を展開しています。

身近な人の命を守るには、変化に気付く、本人の気持ちを尊重しながら話を傾聴する、早めに専門家に相談するように促してつなぐ、温かく寄り添いながらじっくりと見守ることが大切です。

眠れない、食欲がないなど身近な人の変化に気付いたら、まずは勇気を持って声を掛けてみましょう。また、もしあなた自身が悩んでいたら、まずは相談をしてください。

相談窓口 保健福祉課(☎0848・67・6061)
 三原市保健師 藤井 久美子

30分
ところ 県立広島大学
問い合わせ先 県立広島大学(☎0848・60・1257)

大和町健康ウォーキング

とき 4月5日(日) 9時～12時
ところ 白竜湖スポーツ村公園
コース ①お花見コース4km②健脚自慢コース9km
小学生以下は保護者同伴。

参加費 300円(小学生以下は無料)
申し込み 3月31日(火)までに申込用紙(保健福祉課、各支所、各保健福祉センターに用意)を提出、または電話で大和町自治振興連合会(月・水・金曜日9時～17時☎0847・33・0223)へ

被爆者健康管理講演会

とき 8日(日) 14時～15時30分
ところ 本郷生涯学習センター
演題 上手な医療・介護の受け方
※無料相談も受け付けます。
問い合わせ先 被爆者健康管理講演会事務局(☎082・228・0133)

肝炎市民公開講座

変わる！C型肝炎の治療
～高齢者にも優しい最新の治療～
とき 28日(土) 14時～16時
ところ 中央公民館
講師 三原赤十字病院医師 橋本訓招さん
問い合わせ先 中国新聞広告社 福山支社(☎084・931・8880)

子育てを支援します



★子育て支援センターでの子育て相談

- ① 5日(木)10時～11時 本郷ひまわり保育所(下北方一丁目)
- ② 6日(金)10時～11時 円一保育所(円一町二丁目)

内容 身体測定、育児・栄養・歯科相談、遊びの広場

対象 乳幼児とその保護者

用意する物 母子健康手帳

※希望者は直接会場へ。

★子育て支援サロン

とき 31日を除く火・木曜日10時～12時、13時～16時

ところ サン・シープラザ4階

内容 ふれあい遊び、絵本や遊具遊び、子育て相談など

対象 乳幼児とその保護者

※希望者は直接会場へ。

★子育て応援相談

とき 31日を除く火・木曜日10時～12時、13時～15時

ところ サン・シープラザ3階

内容 乳幼児の発達や子育て相談、専門機関の紹介など

対象 乳幼児の保護者

※事前に申し込みが必要。

問い合わせ・申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

マタニティースクール

とき 4月10日(金)10時～12時

ところ サン・シープラザ3階

内容 妊娠・出産についての話、栄養講座、子育て支援サービスの紹介など

用意する物 母子健康手帳、飲み物

申し込み 3月27日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ



県外で妊婦健診などを受診した人に補助金を交付

申請期限 31日(火)まで

※今月末に受診する人は、問い合わせてください。

対象 昨年4月から今月までに、

県外の医療機関や県内外の助産施設で受けた次の検査

受診券	助成額(上限)
妊婦一般健康診査検査券	10,300円
子宮頸ガン検診券	3,400円
クラミジア検査受診券	2,040円
妊婦一般健康診査補助券	5,340円
助産施設妊婦一般健康診査補助券	2,800円
新生児聴覚検査受検票	2,840円

結果票に医師の記

離乳食教室

とき 13日(金)13時30分～15時

ところ サン・シープラザ3階

内容 離乳食のすすめ方、調理実習、試食など

対象 0～6カ月児の保護者

用意する物 母子健康手帳、エプロン、筆記用具

※託児は10人まで可(要予約)。

申し込み 6日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

無料接種は31日(火)まで
麻しん・風しん混合ワクチン

対象 麻しん・風しんの定期予防接種を1回しか受けていない平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの人

実施場所 県内の広域予防接種受託医療機関

接種方法 予防接種券、予防接種予診票、母子健康手帳、住所が確認できる物を用意し、事前に医療機関へ予約

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6234)

祝日の小児科救急当番医院

とき 21日(土)8時30分～17時30分

ところ 三原市医師会休日夜間急患診療所(宮浦一丁目)(☎0848・67・7040)

子どもの育成を支える地域別研修会

とき ①10日(火)②11日(水)③12日(木)④13日(金)

※時間はいずれも19時～20時。

ところ ①大和文化センター②久井保健福祉センター③本郷生涯学習センター④リージョンプラザ

演題 豊かさの中で、今、一番大切なもの
講師 前青少年支援相談員 松田美祈子さん

問い合わせ先 生涯学習課(☎0848・64・2137)

小・中学校の就学費用を援助します

経済的に困難な家庭に、学用品費などを一部援助します。

対象 小・中学生の保護者

※収入などの条件があります。

項目	小学生	中学生
学用品・通学用品費	13,650円(11,420円)	24,550円(22,320円)
新入学学用品費	20,470円	23,550円
修学旅行費	28,300円まで	57,290円まで
校外活動費	1,550円まで	2,240円まで
学校給食費	実費	

※このほか、通学費、医療費、通院費、防犯ブザー・ヘルメット購入費なども対象。
※()内は、新1年生の額。

申込期限 随時

※4月から援助を受ける場合は、4月24日(金)まで。

申し込み 申請書(通学・入学する学校に用意を各学校へ)

問い合わせ先 学校教育課(☎0848・67・6154)



契約内容を理解しないまま
スマートフォンを契約してしまった

《相談内容》

携帯電話の修理のために店に行ったら、スマートフォン(多機能携帯電話)を勧められたので、話を聞いてみた。店員が早口でいろいろと説明してくれたが、よく分からなかった。質問をしても理解できず、何も頭に入らないまま契約してしまった。さらに、オプションを付ければ無料になると言われ、タブレット(多機能情報端末)も契約した。しかし、家に帰って冷静に考えてみると、どちらも使いこなせない。タブレットについては、無料なのは機器代だけで、毎月の利用料はかかるようだ。クーリングオフできないか。(60歳代・男性)

《アドバイス》

携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの店頭での契約は、クーリングオフの適用外です。その場の雰囲気になされることなく、契約内容や条件を理解して、納得した上で契約しましょう。

今回のタブレットのように、機器代は無料でも利用料は毎月かかるという契約は多くみられます。契約時には、初期費用のほかに、月額費用、契約期間や解約料も確認しましょう。機器代などを無料にするために、オプション

人権標語

(小学2年生の作品)

いじめたら じぶんの心も よじれるよ

消費生活の困り事はこちらへ
消費生活センター ☎0848・67・6410

相談員が、解決策を一緒に考えます。
とき 月～金曜日9時～12時、13時～16時
ところ 市役所本庁5階
【巡回相談】
とき 13日(金)・20日(金)・27日(金)
14時～16時
ところ 本郷・久井・大和支所
申し込み 相談日の前日までに、消費生活センターまたは商工振興課(☎0848・67・6072)へ

を付ける必要がある場合は、その内容と利用料を把握しておきましょう。
スマートフォンやタブレットは、従来の携帯電話に比べて多機能である反面、操作が複雑です。自分の使用目的や利用環境を考えた上で、必要性を十分に検討することが重要です。



児童館へおいでよ！

申し込み先 児童館(☎☎兼用0848・67・1123)

茶の心～和親庵～

とき 14日(土)①10時15分～②11時15分～
ところ サン・シープラザ4階
内容 お茶のお点前
対象 3歳児以上(未就学児は保護者同伴)
定員 各10人 参加費 250円

ママちゃん歌のコンサート

とき 21日(土)11時～12時
内容 ファミリーコンサート
対象 0歳児以上(未就学児は保護者同伴)
定員 100人
参加費 無料
※申し込み受け付けは3日(火)から。

自然木工作

とき 27日(金)10時～12時
内容 自然木や木の実を組み合わせて、動物や置き物を作る
対象 4歳児以上とその保護者
定員 30人
参加費 150円



前期クラブメンバーの募集

クラブ名	とき(4月～9月)	対象(平成27年度中)	定員	受講料
和・アート	第2・4水曜日 15時～	5歳児～小学3年生	20人	3,000円
手芸	第4土曜日14時～15時30分	小学4～6年生	10人	2,000円
料理	第2日曜日10時30分～13時	小学生以上	20人	2,500円

申し込み 13日(金)(必着)までに、往復はがきで①クラブ名②住所③電話番号④名前(保護者・子)⑤年齢⑥学校名・学年を児童館(〒723-0014城町一丁目18番1号)へ
※応募は1人1枚、1クラブのみ。
※応募者多数の場合は抽選。詳細は、じどうかんだより3月号に掲載。

点字を学ぼう

とき 28日(土)10時30分～12時
内容 点字で名刺作り
対象 小学生
定員 20人 参加費 100円

※ いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(日)10時からです。
※ 開館時間は10時～17時30分です。月曜日は休館日です。

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き	と ころ	申し込み・問い合わせ先		
弁護士法律相談	①20日(金)②27日(金) ※いずれも要予約。受け付けは5日(木)8時30分から。	13時～16時	①中央公民館 ②大和支所	生活環境課 (☎0848・67・6178)	
	11日(水)・18日(水) ※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜一丁目)	広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)	
司法書士法律相談		12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)		
法的トラブルの解決法・窓口の案内	月～金曜日	9時～16時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)		
行政書士による相談会	28日(土)	10時～16時	フジグラン三原(円一町一丁目)	広島県行政書士会三原支部事務局(☎0848・66・2984)	
消費生活相談	月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁5階 ※電話相談も可。	消費生活センター (☎0848・67・6410)	
消費生活巡回相談	13日(金)・20日(金)・27日(金) ※いずれも要予約。	14時～16時	本郷・久井・大和支所		
若年者向け就職相談	月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ3階	生涯学習課 (☎0848・64・2137)	
学校生活・勉強などの悩み相談	21日を除く月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ ※電話相談も可。	三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)	
学校生活の悩み・体罰などの相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。		
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)		
家庭児童相談	月～金曜日 ※25日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ3階	家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)	
女性相談	月～金曜日			女性相談室 (☎0848・61・0122)	
認知症相談	火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・553・5353)		
成年後見専門相談	12日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ3階	障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)	
障害者なんでも相談	18日(水)※要予約。	14時～16時	本郷福祉センター		
	4日(水)、4月1日(水) ※いずれも要予約。	10時～12時	久井保健福祉センター		
	13日(金)※要予約。		大和保健福祉センター		
心配ごと相談	31日を除く火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)	
	水曜日		本郷福祉センター	(☎0848・86・3607)	
	4日(水)・18日(水)	9時～12時	久井保健福祉センター	(☎0847・32・7101)	
	6日(金)・20日(金)		大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)	
	13日(金)・27日(金)		大和保健福祉センター	(☎0847・34・1214)	
人権相談	火・水・金曜日、12日(木)	10時～16時 (12日は13時から)	サン・シープラザ	人権推進課 (☎0848・67・6044)	
	月・木曜日	10時～16時	市役所本庁4階		
	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)		
女性の人権相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)		
子どもの人権相談			電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)		
交通事故・民事・家事相談			9時～17時	電話相談 県生活センター(☎082・223・8811)	
暴力団関係相談			8時30分～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050)	
登記相談	18日(水)	13時～16時	市役所本庁1階 登記証明コーナー	広島法務局尾道支局 (☎0848・23・2882)	
不動産相談	12日(木)・26日(木)	10時～15時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)	
療育・教育相談	2日(月)・23日(月)	13時～16時			
戦没者遺族相談	5日(木)・19日(木)				
行政相談	16日(月)				
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868☎0848・67・6164)		



だるま販売、植木市などが並ぶJR三原駅周辺を約29万人が訪れ、大盛況だった3日間。今年は、約60年ぶりにだるま行列が復活。子どもたちがかぶった、だるまの張り子も神明市を楽しんでいるようでした(2/6~8 三原神明市)



毎月第2土曜日に開かれてくる軽トラ朝市。地元産の新鮮な野菜や加工品を自当りに集まった人で、朝からにぎわっていました(2/14 軽トラ朝市 三原駅前市民広場)

自分の中の泣き虫鬼、わがまま鬼を退治しようと、「鬼は外」の掛け声とともに豆を投げました(2/3 豆まき 大和認定こども園)



NHKの人氣番組「BS日本のうた」の出演歌手と総合技術高校吹奏楽部の皆さんが合唱や演奏で共演しました(2/12 「BS日本のうた」公開収録 芸術文化センターポロロ)



豊作と無事を祈る行事。今年の恵方の逆方角、東北東的に狙いを定め二矢(2/11 市無形民俗文化財 御弓神事 佐木島 龜山八幡神社)



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

大寒のはばたき
撮影者 岡田敏行さん 撮影日 平成27年1月
撮影場所 明神三丁目



瀬戸の多島美

撮影者 西原良典さん 撮影日 平成27年1月
撮影場所 筆影山(須波町)



川霧

撮影者 元久保一夫さん 撮影日 平成26年12月
撮影場所 糸崎四丁目



主役の出番

撮影者 武田大輔さん 撮影日 平成27年2月
撮影場所 東町三丁目

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 5日(木)(必着)
応募資格 市内に在住か在勤・在学の人
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 ⑤hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲避難所生活を体験学習する二中学生

平成19年に中之町で5つの自主防災組織が一齐に設立され、第19回防災まちづくり大賞の消防庁長官賞に輝きました。今年度、全国で同大賞受賞は19団体です。

中之町下地区合同で防災訓練などを実施してきました。その中で、実感したのが高齢化。災害が起きたときに若い人の力を借りることが必要と感じた竹原さんは、避難所となる第二中学校に協力を要請。合同で開催した防災講演会では、被害をできるだけ小さくする「減災」や地域での助け合い「共助」などをともに学びました。また、避難経路や地域の危険箇所を確認する「まち歩き」にも生徒は参加。それが生かされた地域防災マップは防災会が作成し、下町内会の全戸に配布。町内会長も務める竹原さんは「防災は普段からの地域のつながりが大切」と町内会への加入も呼びかけます。防災教育に参加した中学生からは「自分たちができることは積極的に協力したい」とうれしい声も届いています。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。

中学校と連携し、防災力向上

「将来、災害から身を守る知識を習得してほしい」と防災教育の重要性を語るのは、中之町下町内会「防災会」会長の竹原茂さん。3年前から第二中学校と合同で防災教育や訓練を行なっています。



中之町下町内会防災会 会長 竹原茂さん

第19回 防災まちづくり大賞

☎問い合わせ先

馬を売 牛や馬を売買する市場のことじゃ。昔、牛馬は、農具を引かせて田畑を耕したり、荷物を運ばせたりする家畜として広く飼われて



市って 牛馬市って何ですか？
これを見てごらん。毎年10月に行われる「久井！さわやか高原祭り」の写真じゃ。牛馬市で牛を引いているようすを再現したパレードじゃよ。



久井町の牛馬市 いたんじゃ。久井町の牛馬市は、300年以上前から昭和42年まで行われ、最盛期には一万頭以上を扱ったんじゃ。一万頭も！どこで行われていたのですか？
久井稲生神社のある亀甲山のふもとだよ。牛馬市の開催日には、露店が並び、サーカスや移動動物園も来たんじゃよ。
お祭りみたいで、楽しそうですね。
大変なにぎわいだったんじゃが、農業が機械化し、貨物自動車が発達するにしたがって、牛馬の売買の数が減ってきたんじゃ。そして、市場は閉鎖されたんじゃよ。現在は、「杭の牛市跡」として、広島県の文化財に指定されているんじゃ。



牛馬市 牛馬市があった場所は、どうなっているのですか？
現在は、久井歴史民俗資料館が建っております。当時のポスターや帳簿など、牛馬市の資料が展示されているんじゃよ。資料館の近くには記念碑もあるんじゃよ。

★市民学芸員シリーズ親子で学ぶみはら玉手箱は、今月で掲載を終了します。

市民学芸員シリーズ

市民学芸員シリーズ 市民学芸員シリーズ

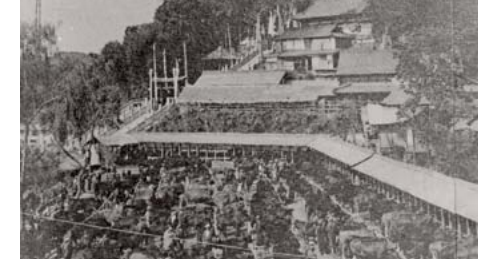
久井町の牛馬市 現在、家族で行つてみます。勉強熱心で感心じゃ。2人とも、この2年間でたくさん学んだのう。まちのことは、知ることができて楽しかったです。三原のことがもっと好きになりました。わしらの住む三原には、歴史や文化という宝がまだまだあるんじゃよ。これからも一緒に探していこう。

タコ博士 年齢：88歳 性別：男性 三原のことを何でも知っているご隠居

フデカゲくん 年齢：14歳 性別：男性 古墳や城跡などに興味がある中学2年生

アヤメちゃん 年齢：10歳 性別：女性 三原の自然や歴史が大好きな小学4年生

航空機の騒音測定結果(1月分) (Lden)
▶正広局(本郷町善入寺正広)=52.3 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.9



▲たくさんの牛馬が集まり、にぎわっていた昭和30年ごろ

??市民学芸員クイズ??

四国・九州・関西方面からも人が集まり、三大牛市の一つとされるほど大きな市場だった久井町の牛馬市ですが、その閉鎖のきっかけとは何でしょうか。
①近くに大きい牛馬市ができた
②農業機械や貨物自動車が発達した
③牛馬が生産されなくなった
：ヒントは、本文の中にあります。

タコ博士 年齢：88歳 性別：男性 三原のことを何でも知っているご隠居

フデカゲくん 年齢：14歳 性別：男性 古墳や城跡などに興味がある中学2年生

アヤメちゃん 年齢：10歳 性別：女性 三原の自然や歴史が大好きな小学4年生

あ・と・が・き
三原の歴史・文化を「宝」として、分かりやすく紹介してきた「市民学芸員シリーズ」親子で学ぶみはら玉手箱が最終回を迎えました。歴史や文化を知るたびに、三原を誇りに感じます▼1市3町の合併から、まちのようすは少しずつ変わってきました。この10年も歴史であり、みはら玉手箱の「宝」。三原の歴史を刻むのは、現在住んでいる私たちということでしょうか。今後も未来の子どもに誇れる歴史を残していきたいです。(M)